



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：鈴木 浩司 幹事：海和 浩運

地区目標 元気なクラブづくりのために「ロータリーの木」の苗木を植え
ましょう、クラブに、地域社会に、世界に、次世代のために

クラブテーマ 「ロータリーを発信しよう」一人ひとりの感性で

◆点鐘：鈴木 浩司 会長 ◆ロータリーソング：それでこそロータリー
◆司会：戸田 佳瑞 副 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル

Yamagata West Rotary

第2854回例会

令和元年7月29日(月)

会長挨拶

鈴木 浩司 会長



皆さまこんにちは。本当に急に暑さがやってきました。先週の土曜日は、皆さまご案内のとおり、土用の丑の日ということで、恒例のテレビニュースで、染太鰻店さんの映像が映ったわけですが、土用の丑の日というのをちょっと調べてみたら、立夏、立秋、立冬、立春という4つの季節の節目があるわけですが、その18日前の期間を土用と言う

だそうです。ですから年に何回もあるわけです。それで、丑の日というのは、要するに昔は十二支で日にちを数え、たまたまその丑の当たる日が土用の丑の日ということで、毎年変わるそうであり、鰻を食べるようになったのは、一説では平賀源内さんが、夏場に流行らないという鰻屋さんの要望を聞いて、まさに夏場、鰻を食べて夏バテ、夏負けしないようにというキャッチコピーで売り出したところ、大変繁盛したということだそうでございます。

ちなみに、別に鰻でなくとも、牛でも大丈夫だそうでございますので、ぜひ皆さまには佐五郎さんと、それから吉田畜産さんからおいしい肉をお買い求めいただいて、鰻でない精のつけ方をしていたいただければと思います。

さて、先週7月24日東京オリンピック1年前ということで、いろいろな形で報道されました。今回はパラリンピックも引き続き行われるわけですが、パラリンピックについてちょっとお話をさせていただければと思います。

と言いますのは、うちの介護の会社「ベル宮町」という老人ホームのほうに、東海林大くんというパラリンピックの水泳の候補生が勤務しております。今日、夕方からその激励会があるんですけども、皆さんもいわゆる障がい者の大会ということでお聞き及びだと思っておりますが、パラリンピックというのは意外と歴史が浅くて、実際に正式オリンピックのあとに行われるようになったのはソウル大会からだそうです。それ以前はいろいろな形で身障者の大会があったわけですが、今のような形になったのは意外と歴史が浅いということで、やはり障がいを持っている方というのは、「神さまから人類への贈り物なんだ」と。それは何かといえば、生まれつき障がいを持って生まれる方、それから後天的に、事故等で障がいを持たれる方がいるわけで、それはある一定の比率、必ずいらっしゃるわけです。神さまはわれわれに五体満足できちっとできることのありがたさを教えるためにある一定の比率で障がい者の方々がいらっしゃるというような話を聞いたことがあります。

そういった意味ではわれわれ健常者は、普段何気なくしていることのありがたさというのはなかなか気づかないわけですが、そういった方々がいらっしゃるということによって、目が見えるというのは

本当にありがたいことなんだ、耳が聞こえるということは本当にありがたいことなんだ、いろいろな意味で感じる機会になるんだろうと思います。パラリンピックを契機に、健常者と障がい者という考え方でなくて、われわれと同じ、まさに平等な仲間である、と。われわれができることは、健常者と障がい者の壁、バリアーを低くしていくことなんだろうと思います。日本、世界の方々の中により深い障がい者に対する理解が生まれれば非常にありがたいのかなと思っております。

東海林くんは、9月にロンドンで世界選手権があるそうで、そこで金メダルを取るとパラリンピックに内定するというので、一発勝負の3月の大会で決まると。われわれもできれば今年の9月に内定をもらっていただけるとありがたいと思っておりますが、皆さまも心のどこかで東海林くんにご声援いただければありがたいと思います。

幹事報告

海和 浩運 幹事

●来週、例会終了後に理事会を開催いたしますので、関係者の方はお忘れなきようよろしくお願いいたします。

新入会員



三浦 達雄さん

旅行代理店
(株)トラベルパートナー
代表取締役社長
昭和39年12月28日



及川 善大さん

弁護士
及川法律事務所
所長
昭和54年8月22日

委員会報告

会計

芦野 茂 会計幹事

もうすでにお手元に届いてるかとは思いますが、上半期の会費12万円の御請求書を7月3日付で事務局からお送りさせていただいております。皆さまいろいろ都合があるかとは思いますが、7月31日までお振込みをお願いしたいと思っております。

なお、新年度より銀行振込の口座が新しくなりました。今年度は「山形西ロータリークラブ 会計 芦野茂」となっております。

先週、おかげさまで金沢55周年に21名、奥さまも含めて27名の参加をいただき、ありがとうございました。

詳細の概観が見えてまいりましたので、先週の末に各参加者の皆さまにファックスさせていただきまして、一連の希望を再確認させていただいているところです。8月2日の金曜日まで返信してくださいませようしくお願ひしたいと思います。

年度方針説明



会員増強方針

佐藤章夫 会長エレクト

さて、私の管轄は、職業分類、会員増強、それからロータリー情報の3つでありますけれども、それぞれ有能な委員長、優秀な会員をそれぞれの委員に配置していただきまして、私は何もしなくても大丈夫だなと思っております。

会員の増強に関しますと、まず量的には人数を増やさなきゃならないことは当然だと思います。ただいま95名ですけれども、ならば100名の大台に乗せていきたいと思っております。

それから質的な面では、常に欠席なさる方が結構いらっしゃるんです。出席委員長やってた時は、自分の席からグーツと背を伸ばして、今日は何人集まってんのかなっていうのが癖になっておりました。あの時の感覚から言うと、大体65名あたりを分岐点にして、65名の出席者がいると大抵95%は優に超すという感覚でございましたけれども、60名を割る時もありました。常に欠席なさる方が出ないように、なんか工夫をしないとイケないと思っております。

それから職業分類に関しますと、現代の社会は、これまでの常識から考えられないようないろいろな職業が出てきております。例えば私の農業の分野に関しましても、昔は農業というそれだけですべてを網羅したわけでありまして、今の農業情勢は非常に多様性のある経営者が出てきておまして、必ずしも昔のような農業の感覚では捉えられない部分がございます。だから分類をどうするかということもあって、ほかの産業分野にも同様のことがあるだろうと思っております。

それからロータリー情報に関しましては、当面、周年事業はございませんから、この間の60周年記念誌のあとは70周年になるだろうと思っております。50周年の時には大きな記念誌を作りましたが、60年、70年ということになりますと、つなぎ的な意味もあります。しかし、しっかりと資料を整理して、保存すべきものは保存して、次代につなぎたいと思っております。



職業分類・ 会員選考方針

鈴木 隆一 委員長

本委員会は、クラブの前年度会長が翌年から3年間在籍する委員会でございます。そこで、今年度委員長には、2016年・17年度会長の私、鈴木隆一、副委員長には17年・18年度会長の半田稔さん、そして委員に前年度18年・19年度会長の小林恵一さんという優秀なというよりは、優秀過ぎるメンバー構成でございます。

この委員会の今年度の任務につきましては、鈴木浩司会長の方針に示されてある通り、「クラブに多様性と活気が生まれ、組織の活性化

につながるように、職業分類の未充填分野から新規会員が入会をするよう図ること」だと捉まえております。そのため、8月末までに、1.未充填職業分類表の作成を行うこと。2.現会員の職業分類の見直しを行うことの2つを実施するほか、3.会員増強の活動にも参加してまいりたいと考えております。1.の未充填職業分類表の作成にあたっては、西クラブが今後の活動において、グローバル化、デジタル化、専門化、他団体との連携強化等を必要とする可能性を考慮してまいります。2.の現会員の職業分類の見直しにつきましては、例えば、クラブの会員が転職をされたり、新規事業を創業、新規分野に進出されるなどして、職業分類を変更しようとする際に、現会員の職業分類の見直しを実施いたします。そこで必要な方はお申し出いただきたいと思ひます。

最後に2019・20年度のマーク・ダニエル・マローニーRI会長は、強調事項の第1番目に「ロータリーを成長させること」を挙げまして、職業分類の再発見を提唱しておられます。これは大変良いことだと感じております。多様性とつながりといった理念を掲げれば、職業分類の価値も高まって当然だと思うからであります。

今回、国際ロータリーのビジョン声明と中核的価値観について、ホームページ上で触れる機会がありましたのでお話をしたいと思います。RIの戦略計画にはビジョン声明と中核的価値観が謳われております。ビジョン声明、その文言は「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します」という格調高い文章が載っております。そして、中核的価値感につきましては、1.親睦と国際理解。つまり、生涯にわたる友情を育みます。2.倫理等高潔性。これは約束を守り抜きますという意味です。3.多様性。さまざまな考え方をつなぎます。4.職業の知識とスキル、奉仕、リーダーシップ。これはリーダーシップと職業のスキルを活かして、地域社会の問題に取り組みますという意味だそうです。

中核的価値観の内容を要約しますと、奉仕、親睦、そして多様性、高潔性、リーダーシップの5つになります。

山形西ロータリークラブにおきましても、会員一人ひとりが奉仕と親睦を信条として活動する際に、多様性や高潔性、リーダーシップも併せて実践し、実現しようと努めることだと理解をいたしております。こうした価値観を尊重しながら、今年度の職業分類・会員選考委員会の活動をしてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



会員増強委方針

長澤 裕二 委員長

副委員長に武田周治さん、委員に遠藤栄次郎さん、佐藤茂雄さん、横山隆太さん、岡崎重知さんと、ベテランから新人まで非常に幅広く委員が網羅されております。若い会員を増やせということもあって、年次の若い会員も重点的に配置されているようです。

毎年、100人を超えるということを目指してやっております。代々やってきていますが、次の年に変わるころには、やっぱり減っちゃって95名とかになっちゃうことが多いんです。我々の会は、世代交代の時期を迎えている会員も結構いますので、3人、5人は減ることを想定して増やさなくちゃなんないということがございます。だから、5人増やすためには10人増やさないと、くらのつもりで思っています。

会員が増えるということは、どういう会員が入ってくるかは、会員にとって非常に大事なことだと思うんです。例会が楽しくなる。あの人がいたら、楽しい例会になるなっていうような会員を我々はなかなか見つけられない。ところが会員が約100人。ということは、その人たちが自分の身の周りに、こんな面白い人がいるよっていうことを探し始めると、すごいネットワークになるはずだと思っております。今年は是非、皆さんに、会員増強委員を拝命したつもりで、1名推薦いただきたいと思ひます。皆さんから100名推薦していただければ、私、全部会います。今年度入ってもらうということはないと思ひます、必ずしも。ただ、2年、3

年かかるとひよっとすると入るかもしれないし、ダメかもしれない。そういう候補を推薦していただきたい。そういうことを毎年やっていくような形にすれば、何とか100名の会員を維持できるようになるんじゃないんだろうか。

また、例会が楽しくなるんじゃないだろうかと思しますので、是非、ご協力をお願いしたいと思います。私、テーブルなるべく動いて、皆さんに声かけます。私が来たら、「あっ、会員増強だった」と思っています。是非、迎えてください。よろしく申し上げます。



ロータリー情報方針

遠藤 靖彦 委員長

こちらも3年委員会というふうに通常呼ばれる委員会ですが、ここ3年の幹事経験者で構成をさせていただいております。委員長は私、副委員長が五十嵐信さん。そして、委員として昨年、幹事をしました菅原さんという構成であります。

委員会3年目ということで、この1年でこの委員会からは終了になりますので、ご協力を是非、皆さまよろしくお願いを申し上げます。

色々なクラブの話を書きますと、3年委員会があるのは、西ロータリーぐらいのようです。会長を経験された方が3年、少し休息を取るという部分と、幹事をした方が3年間、少し休息を取る、そのための委員会ということでございますので、今後、幹事をやられる方もこういう3年間があるんだと思って、しっかりと幹事を了承いただいて、頑張ってくださいと思います。

西ロータリーは人数が多いからこういう委員会があるわけで、人数が減ると多分、この人間も委員会に配属されるんだろうなと思います。是非、皆さまの会員増強へのご協力もよろしくお願いいたしますと思っております。

ロータリー情報委員会の内容であります。新入会員、そして、県外から来られた皆さま方、転勤族の方々、そういう方々にロータリーの情報を提供するという場を設ける委員会でございます。基本的にはファイヤーサイドミーティングを開催させていただいて、ロータリーとは、という内容や、会員同士の親睦というものはかって、新入会員の皆さま、そして、県外から来た皆さまにも、西ロータリーの楽しさを是非、知っていただきたいと思っております。県外より転入された方々の情報交換の場、西山会が、今年もファイヤーサイドミーティング、そして、西山会は一緒の形で開催をさせていただきます。日程は11月25日月曜日の夜、開催を予定しております。後ほど、期日が近くなりましたら、ご案内をさせていただきます。また、対象になる新入会員は、入会3年の方々、県外より転入された方々、そしてそのほかに今までのベテランの西ロータリーの方々にお集まりをいただきまして、親睦をはかっていきたいと思っております。楽しい交流の場となるように準備をさせていただきますので、是非、2次会までの時間を予定してご参加をいただきたいと思っております。本年も1年よろしくお願いをいたします。



クラブ広報方針

吉田 福平 委員長

本年度、鈴木浩司会長のクラブテーマ「ロータリーを発信しよう一人ひとりの感性で」ということを掲げておられます。大変、鈴木浩司

会長とは長いお付き合いでありまして、大変勉強なさって選ばれたテーマなんだろうと感心をいたしております。その教えを踏まえて、当委員会はクラブ内においてクラブ活動の正確な記録を残すとともに、クラブ活動を対外的にいろいろな方々に発信し、広く多くのことを知ってもらうということを目的としてまいりたいと思っております。

3つの委員会がございまして、会報委員会は東海林仁委員長。初めての委員長というなことでございまして、ぜひ新しい風の中で工夫を凝らしながら読みやすい紙面を目指して、例会および諸行事の正確な記録をしっかりと残していただきたいと思います。先ほど佐藤エレクトからもあったように、しっかりと残すことが70周年につながっていくんだろうと思っております。

広報雑誌委員会は、委員長に広報のプロのさくらんぼテレビの鈴木謙司委員長が務めます。こちらも初めての委員長ということで「ロータリーの友」から例会時に記事を紹介していただいたり、またクラブ活動を知ってもらうために広報活動をより力を入れていただきたいと思います。

そして3つ目の史料管理委員会は、ベテランの高橋勝治委員長が務めております。前年度、武田周治委員長の下に整備がなされたということですので、それを受け継ぎながら、70周年に備えていきたいと思っております。会報を含めたクラブ活動の記録を、将来に向けてしっかりと保管をしまいたいと考えております。

この3委員会ですっきりと連携を取りながら、務めてまいりたいと思っております。1年間足を引っ張らないようにだけ務めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。



会報方針

東海林 仁 委員長

当委員会には、副委員長に大城誠司さん、委員に新藤幸紀さん、伊藤歩さん、市川秀徳さん、三澤裕一さんという、大変強力な心強いメンバーを配属いただきまして、今年1年間、緊張感のある例会を過ごしてまいりたいと思っております。

先ほどのお話にありまして、後世の記録として残すために、会長挨拶やゲスト卓話などを正確に掲載したいと思っておりますし、会員同士のつながりを感じていただけますよう、クラブ活動の様子や情報を発信してまいりたいと思っております。

また本年度は会場も変わりました。料理も今までとはちょっと変わっておりますので、毎回料理を掲載して、もし残念ながら先週来れなかった人がその会報を見たときに「うわ、こどうまいもの皆食べたのか、俺も先週来れば良かったな」と、「来週も来よう」と思っただけですよう、そんな出席率向上に少しでもお役に立てるような会報にしてみたいです。ちなみに皆さま先週の料理ってなんだか覚えていらっしゃいますか?先週はカレーなんですけども、なかなか昨日何を食べたか覚えていない私でございます、1週間前何を食べたのか会報を見て思い出そうということも可能ですので、もし私と同じような方がいらっしゃいましたら、そんなふうにご活用いただければと思います。

何分初めての委員長で何もわかりませんが、いろいろご指摘やアドバイスをいただきながら、先ほどのお話でいただきました新しい風が吹かせられますように今までのことにとらわれずにいろいろなことをやっていきたいと思っておりますので、どうぞ皆さん、1年間よろしくお願いをいたします。



広報雑誌方針

中山 眞一 委員

委員長が鈴木謙司さん。また、副委員長は小林さん。私を入れて3人です。よろしくお願いいたします。

それでは、委員長が所用で欠席のため、メモを先ほど預りましたので、代読させていただきます。

「入会7年目、委員長という立場は初めてなので、いろいろ不安はありますが、メディアの世界にいる私を広報雑誌委員長に任命した鈴木浩司会長の意図は、100%理解しています。」ということです。「山形西ロータリークラブの活動をメディアに発信しろ、という指令ですよ。よくわかっています。クラブが社会貢献する姿をいろんなメディアで発信することが私の仕事だと思います。1年間精一杯頑張ります。」と、心強い言葉をおっしゃっていただいております。「また、例年どおり、『ロータリーの友』、『ガバナー月信』の見どころ、当会員関連記事をも紹介していきます。」ということでございます。広報委員会は、クラブのテーマをしっかりと実践して活動してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。以上、簡単ですが代読させていただきました。



史料管理方針

高橋 勝治 委員長

委員長の私と、副委員長の飯田さん、そして委員に米本満さん。副委員長の飯田さんも委員の米本さんも大先輩なので、ご指導を賜りながら務めていきたいと思っております。

前委員長の武田周治さんが昨年1年間かけて、60周年事業をはじめいろんな史料の取りまとめをやってくださったと聞いております。また今後その武田周治さんのまとめたものもしっかりと受け継いで、しっかり管理していきたいと思っています。

先日、小関さん立会いの下、ロータリー事務所の中で、武田周治さんと史料の中身を分析しました。いろんな史料がありましたが、特に当会のバナー、それが数枚残ってございました。いろいろの話の中で、そのバナーというのは前に新入会員に1枚ずつ配ったのだそうです。私はもらった覚えがないのです。

もらった人ともっていない人と多分ここにいらっしやると思うのですが、それも一貫して今度の新入会員には渡していきたいなと思っております。それでこの前、鈴木会長にその件で、やはりバナーを作るのにお金がかなりかかるのだそうです。1枚数千円かかるということで、何十枚も作るわけにはいかないの、当面10枚とか15枚ぐらいお願いして、予算化していただきたいというお願いをいたしました。

また60周年記念の後に70周年記念誌を作る予定でありますので、それに向けていろんな史料を集めながら、そして各委員長の史料の提供を、どうか今後ともよろしくお願いいたしますと思います。そういうことで、今後しっかりやっていきたいと思っておりますので、皆さんの協力をお願いします。

ニコニコBOX

<7月29日>

鈴木浩司会長／当社の老人ホームにきんむすの東海林君は東京パラリンピックを目指しています。本日そのげきれい会があります。応援していただいている皆様に感謝してニコニコします。

佐藤章夫さん／会長エレクトの任は私には重過ぎますが鈴木会長の背中を見ながらこの一年一生懸命勉強いたします。皆様のご鞭撻を喜んでお受けします。

長澤裕二さん／昨日早池峰山に登りました。昨年登ったのですが台風で風が強くて7合目で断念していました。今年は天候に恵まれ、晴天の登山でした。2年かけて登ることができました。感謝してニコニコします。

本日の献立



<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (7/29)	96名	54名	修正出席 (7/8)	95名	87名	82名	94.25%
メイクアップされた会員	(山形中央) 酒井 啓孝、伊藤 歩、浦口 太門、菅原 茂秋、橋本 徳光						